

広
報

はちおうじの教育

4.15

2014(平成26年)
No.78

～あふれる元気 かがやく心 仲間とともに はばたけ未来へ～

東京初の中核市へ
八王子が変わります！



学びをみらいへ

新しく整備されたパソコンで調べ学習

市は、「活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち」をめざし、実現のための基本方針に「未来をひらく子どもを育てる教育」と「学びを活かせる生涯学習」を掲げ、取り組

んでいます。今号では新年度を迎え、子どもから大人まで全ての人が学びを通して未来へつながるよう、平成26年度の取り組みなどについて紹介します。

保護者の皆さん
小・中学生の皆さん
ひとりで悩まないで！
総合教育相談 ☎664-6949
子ども電話相談 ☎664-3665
毎週月曜日から金曜日(祝・休日を除く)
午前8時30分から午後5時まで

都教育相談センター
いじめ相談ホットライン
24時間対応
全国統一ダイヤル
☎0570-0-78310

メロディーが聞こえたら
子どもたちの見守りにご協力を
子どもたちの下校を見守るきっかけづくりとして、松任谷由実さんの「守ってあげたい」を午後2時に防災行政無線で放送しています。
♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

子どもたちのみらいのために

子どもたち一人ひとりの生きる力を育むため、「豊かな人間性・社会性を育む教育」を推進し、学びのための教育環境の充実をめざします。

問い合わせ 学校教育政策課
 (☎620・7403、FAX627・8811)へ

ICTを活用した学び合い

わかりやすい授業を行うために、市の小・中学校では、パソコンやプロジェクト、書画カメラなど、ICT(情報通信技術)機器を活用した授業を行っています。

船田小学校と神津島村立神津小学校の4年生が、インターネットテレビ電話を利用した交流授業を行いました。これは社会科の授業の一環で、以前船田小学校に勤務していた教員が、神津島に赴

任したことを行われたものです。授業ではさまざまな質問を通じて、お互いの自然環境や生活環境が違うことを知り、子どもたちは「同じ東京都でも、気候の違いに驚いた」「神津島に行ってみたくなった」と話していました。

市は、授業にICT機器を効果的に活用し、児童生徒の興味や関心を高め、学力向上につなげていきます。



▲パソコンのカメラに向けて、八王子の野菜を紹介

外国語でコミュニケーション



▲会話ができると楽しいね

外国語を通じて言語や文化についての理解を深め、積極的にコミュニケーションを図る能力を養うため、A・L・T(外国人学習指導補助者)が小・中学校で授業を行っています。川口小学校6年生の外国語活動の授業では、A・L・Tと一緒に、英語で将来の夢について語り合いました。「野球選手」や「動物園の飼育員」「海外の大学に留学」など、希望に満ちた夢が飛び出し、楽しく会話が弾んでいました。2年間、A・L・Tと学んだ子どもたちは「外国

語で自分の事を伝えられると楽しい」「最近洋楽を聞くようになった」と話していました。小学校で外国語に触れることは、中学校の授業との円滑なつながりが図られるだけではなく、外国の言語や文化に目を向けることで、国際感覚を養うことにもなります。子どもたちが外国人との交流を通して、国際社会を生きていく上でのさまざまなものの見方や考え方を、体験的に理解を深める環境づくりに取り組んでいきます。

安全・安心な学校施設

市は、子どもたちが安心して学び、生活できる環境を整え、地震や台風などの災害発生時には、地域住民の避難場所としての防災機能を確保するため、安全・安心な学校施設の整備を進めています。小・中学校全ての校舎や体育館の耐震化は平成25年度で終了し、26年度は、

体育館のバスケットゴールや照明器具など、非構造部材の耐震化を更に進めていきます。
また、学校では地域と連携して防災訓練を行うことで、子どもたちの「自助」「共助」の意識を高め、防災教育に地域とともに取り組んでいきます。



▲校舎と体育館の耐震化が終了し、より安全・安心な学校施設

みんなで育てよう はちおうじっ子

八王子市の家庭教育8か条

家庭は、子どもが安心して過ごせる居場所です。また、社会のマナーや基本的な生活習慣、学習習慣を身に付けさせる学びの場でもあります。

生活習慣も学習習慣も、毎日の繰り返しで身に付くも

のです。子どもの「がんばり」や「伸び」をよく見て、励ましたり、誉めたりすることを心がけることが大切です。
子どもたちの教育は、家庭を基本として、地域・学校が協働しながら、行うものです。日頃から「家庭教育8か条」について、子どもたちと一緒に取り組んでみましょう。

親子の
会話を
大切に
しよう

家庭での
役割を
与えよう

何でも
与えずに
がまんを
教えよう

「早寝・早起き
朝ごはん」を
励行しよう

八王子市
の家庭教育
8か条

よくない
言動を
きちんと
叱ろう

命の
大切さを
伝えよう

きちんと
あいさつを
させよう

よいところ
を見付けて
ほめよう

スポーツ推進計画を策定

スポーツとともに生きる

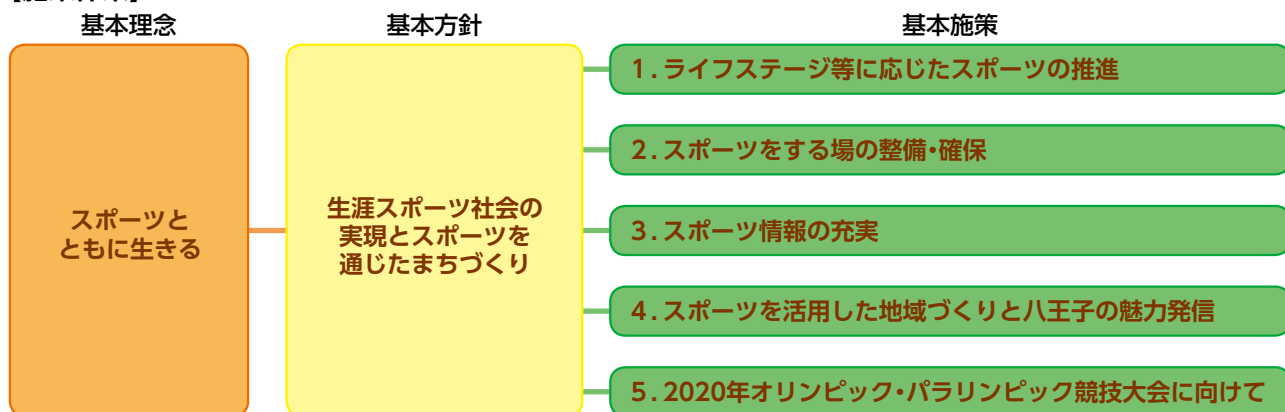
市教育委員会は、国のスポーツ基本法が施行されたことを受けて、平成26年3月に「八王子市スポーツ推進計画」を策定しました。

基本理念を「スポーツとともに生きる」とし、市民一人ひとりが自分に合ったスポーツの楽しみ方を見つけ、生涯を通じて健康でいきいきと暮せる社会の実現をめざします。また、基本方針を「生

涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じたまちづくり」とし、スポーツを通じて地域を活性化させ、八王子をより元気なまちにするための取り組みを実施します。計画を推進するために、5つの基本施策を掲げました。

問い合わせはスポーツ振興課(☎620・7457、FAX626・8554)へ。

【施策体系】



施策1 ライフステージ等に応じたスポーツの推進

スポーツには体力の向上や健康の維持などさまざまな効果があり、私たちの生活の質の向上をもたらします。年齢や体力、そして障害の有無を問わず、誰もがスポーツを身近に感じ、あらゆるライフステージを通じて、日常的にスポーツを楽しむことができるよう、市民一人ひとりのレベルや志向、環境に見合ったスポーツ施策に取り組みます。

子どものスポーツ

- ◆子どもの健全育成を図るとともに、自分に合ったスポーツに出会う機会を創出
- ◆子どもの競技力の向上を支援



▲スポーツする習慣を身につけて

成人のスポーツ

- ◆運動不足になりがちな、働く世代や子育て世代に向け、スポーツ習慣を促すために幅広いスポーツ事業の実施

高齢者のスポーツ

- ◆ウォーキングや軽運動など、高齢者が継続してスポーツをすることができる環境の整備
- ◆スポーツを通じ、生きがいを感じられるよう、地域の人々と交流できる仕組みづくり

障害者スポーツの推進

- ◆障害者スポーツへの理解と指導者の育成
- ◆障害者と健常者とのスポーツを通じた交流機会の創出

施策2 スポーツをする場の整備・確保

スポーツを推進するためには、身近なところで気軽にスポーツに親しむことができる場の確保が必要です。しかし、既存施設の老朽化といった課題に直面する一方で、今後、少子高齢化が一層進展する中で、新規の施設整備については一定の財政規律を守りながら対応していかなければなりません。今後は、計画的な施設マネジメントのあり方を検討しつつ、場の確保や充実に努めます。

スポーツ施設の整備・充実

- ◆老朽化したスポーツ施設の再生
- ◆スポーツをする場の確保

効率的なスポーツ施設の運営とサービスの向上

- ◆指定管理者制度の導入と検証
- ◆スポーツイベントや教室など、ソフト事業の充実による付加価値の向上

外部資源の活用による場の確保

- ◆大学コンソーシアム八王子との連携や企業のスポーツ施設の活用を検討

学校施設開放の仕組みづくり

- ◆学校施設の有効活用を推進するための組織やルールづくり



▲10月に新しく開館予定の総合体育館のイメージ図

施策3 スポーツ情報の充実

気軽にスポーツにふれあうためには、身近な場所で開催されるスポーツイベントなどの情報を得られることが必要です。ホームページやSNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用して、イベントやスポーツ施設の情報などをわかりやすく発信します。

また、市民のスポーツニーズを捉えるためにアンケートを活用するなど、市民がスポーツに興味や関心をもち、積極的なスポーツ活動に結びつくような施策を展開します。



▲スポーツを始めるきっかけは情報から

スポーツ情報の収集・発信

- ◆市民がスポーツに親しむきっかけとなるスポーツ情報の発信
- ◆新たな情報媒体の活用やスポーツ情報の一元化

スポーツに関するニーズの把握

- ◆実態調査を実施するなど、市民のニーズを的確に捉え施策に反映

施設予約システムの充実

- ◆市民にとって利便性の高いシステムづくり

施策4 スポーツを活用した地域づくりと八王子の魅力発信

観光資源との連携を図ることによる消費効果が期待できる「スポーツツーリズム」の推進や、総合型地域スポーツクラブを核とした地域コミュニティの育成など、経済的効果と社会的効果に着目し、スポーツを活用したまちづくり施策を展開します。

総合型地域スポーツクラブの支援

- ◆各クラブの特性（「地縁型」と「志縁型」の2タイプ）に合わせた支援
- ◆クラブ間の連携強化

地域スポーツを支える人材と担い手の確保・育成

- ◆スポーツ推進委員の活動支援
- ◆地域スポーツ指導者の育成
- ◆外部指導員の活用

八王子の特性を活かした事業展開

- ◆大規模スポーツイベントの誘致など、スポーツツーリズムの推進
- ◆八王子の豊かな自然を活用したアウトドアスポーツイベントの開催など

スポーツ関係団体の支援・連携

- ◆スポーツ関係団体が自立し、主体的に活動を行うための支援



▲豊かな自然も八王子のスポーツ資源

施策5 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて

オリンピックは、200以上の国と地域が参加する世界的なスポーツの祭典です。東京オリンピック・パラリンピックの開催は、世界各国からトップアスリートが集結し、世界最高水準のプレーを目の前で観ることができるまたとないチャンスです。「観る」「支える」「する」という3つの視点から、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催に向け、東京都と近密に連携しながら、オリンピック・パラリンピック開催に向けてさまざまな施策を展開します。



▲トップアスリートのプレーを目の前で(昨年の国民体育大会で)

「観る」スポーツの展開

- ◆大会の感動を共有できるよう「観る」環境の整備

「支える」スポーツの展開

- ◆市内のスポーツ施設を活用した事前合宿の誘致
- ◆ナショナル・トレーニングセンターなどの誘致の検討
- ◆スポーツボランティアの養成

「する」スポーツの展開

- ◆ジュニア期におけるアスリートの発掘・育成
- ◆スポーツ指導者の指導技量や資質の向上

「はちおうじ出前講座」のご利用を

いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができる環境づくりの一環として実施している「はちおうじ出前講座」。この講座は「市民と地域が主役の生涯学習」の実現に向けて、市民の学習活動の支援の一つとして取り組んでいるものです。

講座は、市民の皆さんが知りたい、学びたいと思う市政や行政課題、健康や子育て、環境、防犯・防災といった暮らしをとりまく身近な情報、八王子の歴史・文化など、さまざまな分野を用意しています。また、おとなだけではなく、子どもが楽しく学べる内容の講座も実施しています。全133種類からご希望の講座をお選びください。

この「はちおうじ出前講座」では、地域の学習会や集会、学校や事業所での研修会に、市や消防署など官公署の職員や企業の方が講師としてお伺いし、専門知識をいかした講義や説明、体験学習を行います。学んだ知識が家庭や学校、地域でいかされ、学習を通じて、人と人との交流がさらに広まることをめざしています。また、生活や暮らしに密着した講座で、学びを広げるとともに、市政に対する理解を深めていただきたいと考えています。

平成24年度は、3千件を超える申



▲暮らしに役立つ講座を身近な場所で

し込みがあり、延べ29万人以上の方が受講されました。毎年多くの市民の方に利用していただいています。対象は市内在住・在勤・在学の方で構成されている10名以上のグループまたは団体で、受講料は原則として無料です。ぜひお気軽にご相談ください。

講座内容や申し込み方法など、詳しくは市役所1階ロビー、各事務所・市民センターなどで配布している冊子「はちおうじ出前講座」、または市のホームページをご覧ください。

問い合わせ 生涯学習政策課

(☎6220・7334、FAX

6226・6554)へ

知っておきたい八王子の歴史

日光と八王子千人同心

多くの小学校が移動教室などで訪れる世界遺産「日光」。東照宮や二荒山神社、輪王寺などに残る素晴らしい文化財は人々を魅了してやみません。ところで、皆さんは日光の文化財に「八王子千人同心」が深く関わっていることをご存じでしょうか。

千人同心は、徳川家康が江戸へ通じる甲州道中の守りの要である「八王子」に千人の守備隊をおいたことが始まりです。しかし、戦国時代も終わり、平和な時代になると、千人同心は家康がまつられた日光を火災などから守る「火の番」を担うことになります。これは、幕府が減るまで216年間続けられました。ところが、その最後に日光に危機が訪れたのです。



▶東照宮への表参道にある顕彰燈

封建社会の終わりを告げる「明治維新」をきっかけに戊辰戦争が勃発。幕府軍は各地で敗北し、新たな時代への流れを止めることができずにいました。こうした状況の中、千人頭（隊長の一人）石坂弥次右衛門は「火の番」として赴任したのでした。石坂は日光に進軍してきた新政府軍の板垣退助一行に幕府方の一員として、戦わず明け渡すので、日光を戦場にしないことを要請。板垣らはそれを受け入れます。任を解かれ八王子へ戻った石坂は、戦わず明け渡した責任を取り、自ら命を絶ちます。命をかけた石坂の決断が日光を守ったのです。

日光市の皆さんは、千人同心への感謝の思いを伝えるための「顕彰燈」を大切に守ってくれています。また、日光市とは千人同心を縁として姉妹都市にもなっているのです。郷土資料館では、ガイドボランティアの皆さんがこの悲話を紙芝居で紹介しています。ぜひ一度、郷土資料館で本市の歴史にふれてみてはいかがでしょうか。

問い合わせ 郷土資料館(☎

6228・8939、FAX62

7・5616)へ

教育委員会表彰

119名13団体の活躍を表彰

平成26年3月17・26日に「市教育委員会表彰式典」を市役所本庁舎で開催しました。市教育委員会表彰は、社会的に評価される活動や優れた能力、努力に對して称賛し、周囲の模範として広く知らせるとともに、児童・生徒の豊かな心の育成やスポーツの振興、ボランティアの奨励を目的としています。

対象者は、スポーツや芸術文化、ボランティア活動など、さまざまな分野で活躍した児童・生徒や市民の方と、小・中学校の9年間を1日も休まずに出席した生徒です。25年度の表彰者の学



▲表彰を受け、笑顔で記念撮影(3月17日の表彰式典で)

表彰者数一覧表

区 分	児童・生徒	一 般
体育	55名 7団体	6名 2団体
文化	6名 3団体	1名 1団体
ボランティア など	1名	26名
義務教育皆 出席	24名	

昨年年度は、9月に54年ぶりに東京で開催された国民体育大会や、若い選手の活躍がめざましかったソチ冬季オリンピック・パラリンピックなど、スポーツ関係の話題が多い1年となりました。その中でも、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定は、多くの人々に夢と希望を与えました。6年後に開催されるこの大会で活躍する方が本市から誕生することを期待します。

問い合わせ 教育総務課(☎620・7323、FAX627・8811)へ

教育委員会の動き

5回の会議を開催

平成26年1月から3月まで定例会を5回開催しました。主な内容をお知らせします。

【議案】

○八王子市スポーツ推進計画について
○八王子市いじめ防止基本方針の策定について

【協議事項】

○「これからのちおうじの教育」について

【報告事項】

○平成25年度八王子市学力定着度調査の結果について

○東京都有形文化財(考古資料)の指定について

今後の定例会開催日程(予定)

日 時	会 場
4月23日(水) 午前9時～	市役所 議会棟4階 第3・4 委員会室
5月7日(水) 午前9時～	市役所 本庁舎で 開催
5月21日(水) 午前9時～	

定例会は、公開しています。傍聴を希望される方は、当日、直接会場にお越しください。また、定例会の内容や開催日程など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

問い合わせ 教育総務課(☎620・7323、FAX627・8811)へ

高尾山学園への転入学

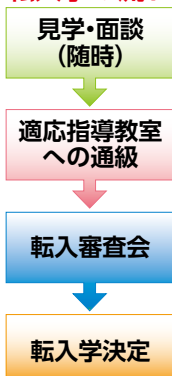
適応指導教室を常設

平成26年4月から、高尾山学園の見学や面談の申し込みを随時行えるよう、同学園に適応指導教室を常設しました。適応指導教室は、不登校になってしまった児童や生徒を対象に、学校への復帰をめざして学習や日常の指導、相談を行う場所のこと。高尾山学園に転入学する前に適応指導教室に通い、お子さんの学園への適応状況を見守りながら、年4回の転入学に向け、指導を進めていきます。

対象 次のすべてに該当する小・中学生 ▼転学時に市内に在住 ▼病気や経済的な理由以外で年間30日以上欠席、または保健室・相談室などに通い、現在も同じ状態にある

案内書申請書の配布 市役所7階教育支援課、市立小・中学校、市ホームページで申し込み 高尾山学園内適応指導教室の見学・面談のうえ、所定の申請書に必要事項を記入して、直接、または郵送で教育支援課(登校支援担当)へ

転入学の流れ



問い合わせ 教育支援課登校支援担当(☎193・0944 館町1097・30 ☎663・3216、FAX663・3218)へ

